



2009年1月14日(水)

マーケット情報

ホーチミン取引所: 4日ぶり小幅反発

今日のVN指数は+0.85ポイント(0.28%)と4日ぶりに小幅反発した。昨日、ベトナム大手国営銀行工商銀行(Vietin Bank)、投資開発銀行(BIDV)、ベトナムバンク(VCB)は予想以上好調な2008年業績を発表したのが好材料ではあるが、一方、個人所得税の実施延期が不透明なため市場の反応は鈍かった。多くの投資家は様子見を選択し、売買代金は先週と比べ、半分程度で取引された。

個別では、171銘柄のうち65銘柄が上昇、62銘柄が下落とまちまちだった。サコムバンク(STB)がカンボジアで事務所オープンを発表したが業績はまだ明らかにならず、STB株価が+0.6%(※下記参照)。その他、足元業績が好調な銘柄は注目を集めた。FPTが+2.2%と反発、ソンダ工業団地・都市投資開発(SJS)は一時下落場面もあったが、その後買い戻りで+1.7%と反発した。その他、テト(旧正月)の前でもあり、海老餅Sa Giangの有効ブランドを持つサザン輸出入(SGC)が+4.4%、菓子メーカーのノースキンド食品(NKD)が+3.8%など食品銘柄は好調であった。

トピックス

STB: プノンペンで代表事務所開設許可取得

カンボジア国家銀行はベトナム商業銀行大手サコムバンク(STB)に対し、カンボジアでの営業許可、首都のプノンペンでの支店開設許可を与えたと13日に明らかにした。同行はベトナム国内だけでなく、周辺国々に進出する戦略がある。同行は昨年1月に中国広西省南寧市で代表事務所をオープンし、12月12日にラオス支店の営業を開始するなどアジア周辺国々に展開している。

2008年におけるカンボジアに対する海外投資国の中で、ベトナムは10位、19のプロジェクトを展開(投資額は約2億2800万ドル)の許可を取得した。両国間の2008年貿易額は170億ドル(前年比+30.7%)と毎年増えている。2009年に証券取引所を設立する予定があるカンボジアで、STB以外、ベトナム籍企業約120社はプノンペンに支店・代表事務所がある。両国の経済連携強化には、銀行が欠かせない存在となり、今後もサコムバンクの海外活動に注目したい。

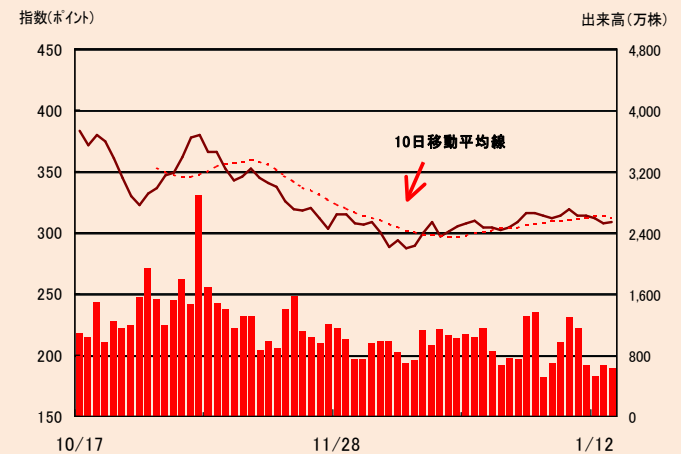
FPT: 13.7%増益

IT通信大手のFPT(FPT)が13日夕発表した2008年12月期の連結純利益は前期比+13.7%の8390億ドンだった。売上高は+21%の1兆6806億ドン。その内、主力のIT部門が好調であり、ソリューションズ事業の売上高が3196億ドン(年間計画の2350億を+35%上回った)、アウトソーシング事業が同2303億ドン、通信部門の売上高は3590億ドン、販売事業が4373億ドン、新事業の教育事業が475億ドンだった。2008年のコア事業(IT通信)の利益割合が63.4%となり、前年の47.9%から改善させた。2009年12月期はコア事業に注力し、純利益が10%増になる見通し。

□ VN指数

VN指数	307.98	値上り銘柄	65
前日比	+0.85	値下がり銘柄	62
前日比(%)	+0.28	売買代金(百万VND)	166,425
		出来高(百万株)	6.34

□ VN指数チャート(日足3ヶ月)



□ VN指数 値上り・値下り上位5銘柄

値上り上位5銘柄

コード	銘柄名	終値(VND)	前日比(%)	売買代金(百万VND)
VTA	ビタリー	6,500	+4.84	19
SGC	サザン輸出入	11,900	+4.39	100
NKD	ノースキンド食品	27,000	+3.85	14
PJT	ペトロリメックス・タンカー	11,700	+3.54	6
LSS	ラムソン製糖	14,800	+3.50	7

値下り上位5銘柄

コード	銘柄名	終値(VND)	前日比(%)	売買代金(百万VND)
DXP	ドアンサ・ポート	20,900	-7.11	145
SGT	サイゴン通信技術	23,100	-4.94	2,249
COM	資材・石油	33,300	-4.86	84
DPC	ダナンプラスチック	9,900	-4.81	30
PMS	石油機械工業	18,100	-4.74	56

□ VN指数 出来高上位5銘柄

売買代金上位5銘柄

コード	銘柄名	終値(VND)	前日比(%)	売買代金(百万VND)
FPT	FPT	51,000	+2.20	15,310
SJS	ソンダ工業団地・都市投資開発	57,500	+1.77	14,696
SSI	サイゴン証券	29,600	+1.37	13,677
DPM	ペトロベトナム化学肥料社	34,200	-1.72	13,435
REE	リー冷蔵電気工業	21,800	+0.00	8,762

オリエント証券株式会社【関東財務局長(金商)第54号】

加入協会 日本証券業協会 主な事業 金融商品取引業

外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。ベトナム株式への投資には、基本取扱手数料(約定代金×2.10%(最低手数料 800,000ドン)) (税込)が必要です。外国株式の売買にあたり、円貨と外貨を交換する場合には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。